

学校名	位置 図番 号	通学路点 検年度	危険内容	対策可否ス テータス	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況ステータス	備考
赤坂	1	2021	県道御幸松永線と赤坂幹線の交差点で、山陽本線北側全地域の児童が一斉に集う場所にあたり、尚且つ通勤車両が多く、河手川に児童が転落の恐れあり。(過去に落下事故あり)	対策可	【県】 外側線の設置 外側線の引き直し 【市】 転落防止柵の設置	点検内容がすべて対応完了	
赤坂	2	2021	県道御幸松永線と赤坂70号線、47号線の交差点内を児童が横断するにあたり、大型車両の通行が多々あり死角となり、通学児童の確認が困難で、接触事故の可能性あり。(2021年度も自転車と自動車の接触事故発生との報告有。)(さらに、自動車をよけようとした児童が側溝に転落する事案も発生している。)	対策可	【県】 外側線の設置 外側線の引き直し 【市】 路面標示(横断児童あり)の設置(水道工事完了後)	点検内容がすべて対応完了	
赤坂	3	2021	線路下をくぐる河手川沿いの「アンダーパス」を通って登校している。強い雨の日やその後日には川の水が氾濫し、通れない場合もある。(今年度は2日間通行を禁止した。)迂回するにも自動車の通行量も多く危険であるとの声が多い。また、「アンダーパス」の通行の可否は学校が判断しており、早朝に判断して家庭連絡を行うため、周知の確認が難しい。合同点検では報告カ所として提出されていないが、以前から改善の要望を市に提出していると地域からは伝え聞いている。	対策不可	アンダーパス(旧2号線・山陽本線)の通行や代替案について、関係機関・団体と検討する →2022年度(令和4年度)合同点検へ引き継いで取り組んでいくため、2021年度(令和3年度)分は一旦整理する	対策実施困難	河手川内の土砂撤去を、寄附行為として実施完了(河川管理者の県と連携済み)

赤坂小学校

